

# おとくにしんぶん ⑤

2014

http://www.otokuni-jc.org/

発行/公益社団法人乙訓青年会議所 〒617-0826 長岡京市開田3丁目10-16 長岡京市立産業文化会館2F 編集/広報渉外委員会

## Contents

4月例会  
35周年記念式典  
懇親会

新入会員紹介

地域諸団体紹介



## 地域諸団体紹介

### 第十三回桜まつり

三月三十一日(月)から四月六日(日) 桜満開のシーズンに、長岡天満宮にて第十三回桜まつりが行われました。

お祭の期間中は長岡天満宮の東堤や中之島公園ではライトアップされ、八条ヶ池の水上橋が開放されていて通り抜けができました。水面に映しだされた桜の景色は、たいへん美しく幻想的でこの時期だけの醍醐味です。来場市民の方々が、この特別な眺めの桜をご堪能されておられたのも楽しそうでした。



**乙訓文化少年団**  
四月六日(日)長岡京市産業文化会館にて、乙訓文化少年団 発団式・紙芝居を開催しました。発団式では第一回目という事で、田中団長の挨拶、谷川リーダーから事業説明を行いました。また、紙芝居では子ども達が竹取物語を画用紙に描いて、自分の描いた絵を持って前で一人ずつ発表しました。緊張しながらも真剣に発表する姿は、皆様にも感動して頂けたと思います。お手伝い頂いた皆様、ありがとうございました。  
(青少年育成委員会 委員長 谷川聡)



### 第三回乙訓JC説明会

まず、今回の説明会で五名の多くの入会候補者に参加して頂いた事、メンバーの皆様のご協力に感謝致します。

懇親会にも多く参加して頂き、入会の意志を見せる候補者も見受けられました。

この調子ですしでも多くの方に乙訓青年会議所の事業や活動を紹介して魅力を知って頂き、共に行動出来る仲間を増やして行きたいと思っております。

本年度、会員拡大委員会では二十名の会員拡大目標を掲げ日々活動しております。

この目標を達成するためには、皆様のご協力なくしては達成できないものと考えておりますので、今後ともご協力の程宜しくお願い致します。  
(記事 会員拡大委員会 下平祐子)



#### 編集後記

35周年記念式典・懇親会に御来場賜りました皆様方、誠に有難うございました。全力でやりきりました。(委員長 水原年貴)

広報渉外委員会

委員長 水原年貴 編集長 中川浩司 副編集長 大塚健介 編集委員 上坂彰男 金子明日嘉 榎原政人 波多野裕人 中知哉

### 会員募集

青年会議所(JC)は「明るい豊かな社会の実現」を理想とし、「奉仕・修練・友情」を信条として様々な活動をしている青年経済人の集まりです。会員資格は二十歳から四十歳迄と年齢制限があり、メンバーは限られた時間の中で次代のリーダーとなる責任感を持ち切磋琢磨しています。地域の産業を担う青年経済人の人的ネットワークを広げ、より青年会議所運動を展開する為に、メンバー一同、共に夢を語り合える仲間としてJCの扉を開いて頂ける事をお待ちしています。乙訓青年会議所では随時メンバーを募集しております。  
ご興味がある方は公益社団法人乙訓青年会議所事務局(〇七五-九五七-二三〇)まで

### 理事長対談

#### 江下傳明町長×田中俊幸

**(田中理事長)** 今年度、乙訓青年会議所は「不動心!未来への原動力となれ!」をスローガンに掲げ、メンバー全体がどんな時にも負けないと言ふ気持ちで活動させて頂いております。よろしくお願ひします。

**(江下町長)** 皆さんにはこの地域の子ども達の育成に取り組み、大きな貢献をして頂けていると言ふ事に感謝致します。

**(田中理事長)** 二市一町の駅伝や、乙訓水辺フェスティバルでは大山崎町の皆様には多大なご協力を頂きありがとうございます。現在2市1町では道路の整備、新駅の開業、住宅地の形成等の開発が行われていますが、京都縦貫道「にそと」の開通、新駅の開業に伴い大山崎町ではどのような影響があったのでしょうか。

**(江下町長)** 町に対しての影響としては交通環境、生活環境両面に影響がありました。交通環境としては大山崎ジャンクションから「にそと」に入る車が二万台を超過しています。また「にそと」の開通に伴い国道十七号までの「にそと」側道が今年の四月に開通した事で、今までの狭い町内道路への車の通行量が減り歩行者の安全面が向上しました。生活環境においては、阪急新駅の開業に伴い田を持たれている方が住宅地へと変更される事で人口は増加傾向にありますし、それは現在も続いております。

**(田中理事長)** 私も現在新駅の近くに住んでおり、生活する中で若い方が増えている事

**大山崎町 江下傳明 町長**

昭和46年 佐賀県立佐賀工業高等学校卒業  
同年 日立マクセル入社  
平成6年 大山崎町議会議員選挙 初当選  
平成22年 大山崎町長選挙に立候補 当選

は実感しております。このように環境が変化していく中で他にはどのような整備がされてきたのでしょうか。

**(江下町長)** その他には教育環境の充実を考へ、保育所・小中学校へエアコン・空気清浄機の配備、トイレの洋式化、耐震補強等、子ども達が健やかに育てるような環境の整備・充実を図っております。

**(田中理事長)** 大山崎町ではまちづくりについて町長と語る場としてタウンミーティングを開催されたとお聞きしましたが、そこでは住民の方からどのようなお話しやご要望が多かったのでしょうか。

**(江下町長)** 色々な会場で行わせて頂きましたが、それぞれの会場により特徴がありました。一年目は水道料金を下げてほしい、コミュニケーションの賛否、地域がらみの要望、



**2014年度第35代理事長 田中 俊幸**

平成12年 入会  
平成19年 広報渉外委員会 委員長  
平成25年 副理事長  
平成26年 乙訓青年会議所 理事長

**(田中理事長)** 次に市町村合併についてお伺いしたいのですが、現在大山崎町ではどのような方針・考えをお持ちであるのかお聞かせ頂けますでしょうか。

**(江下町長)** 私の考えとしては、広域行政として一緒にできるものは一緒にするというのがベースになります。現在はゴミの焼却や広域消防、福祉関係等を広域でさせていたでいております。大山崎町の住民の方が、現在、長岡京市と大山崎町が合併するための協議会を設立するために、署名活動を進めておられます。

私は、それぞれのまちの自治は、各々にまちの歴史がありますので、そこところは大切にしていくなが必要があると思っております。  
(次のページへ)